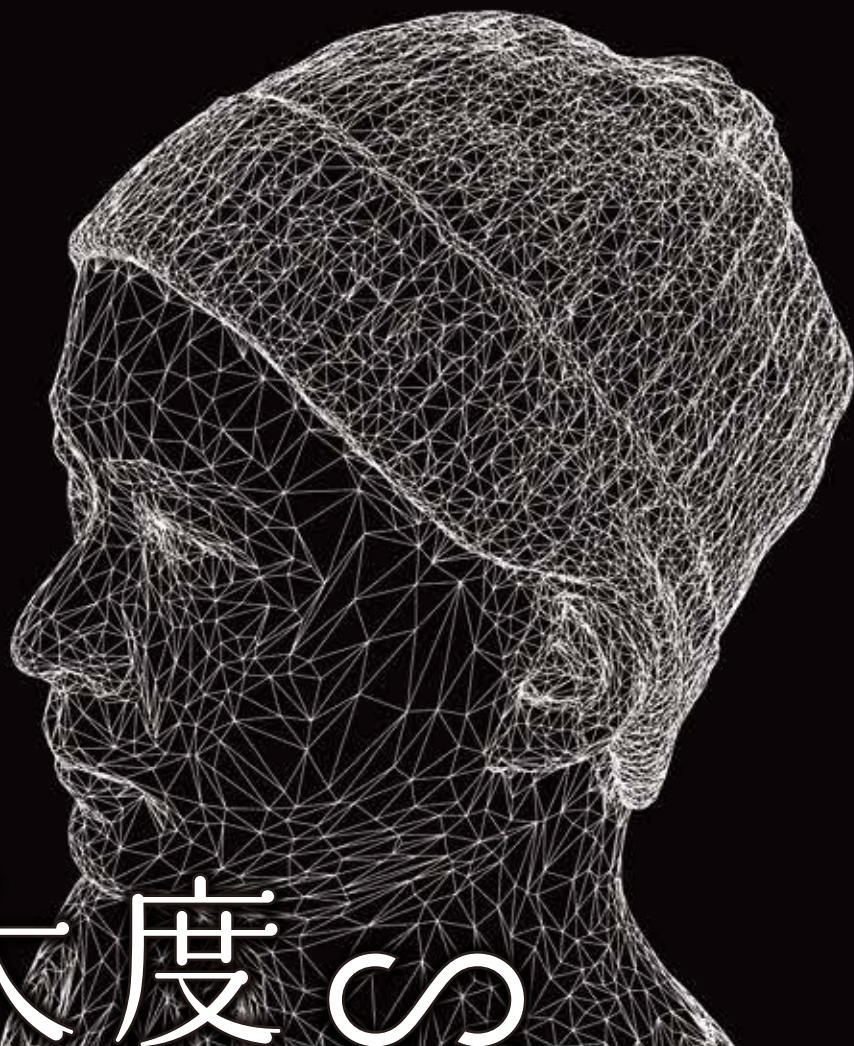




新作を含む 真鍋大度、rhizomatiks research の個展 国内初開催

トップクリエイターが描く  
アートの未来



# 真鍋大度 ∞

## ライゾマティクスリサーチ

Daito Manabe ∞ Rhizomatiks Research

2018.11.16 [FRI] ≫ 2019.1.14 [MON]

鹿児島県霧島アートの森 アートホール

開園時間 9:00 - 17:00

(入園は16:30まで)

月曜日休園(祝日の場合は翌日休園、12月31日~1月2日は年末年始休園)

【観覧料】

一般 800(600)円 / 高大生 600(400)円 / 小中生 400(300)円

( )内は前売り又は20人以上の団体料金

【主催】鹿児島県文化振興財団 / 南日本新聞社 / MBC 南日本放送

【協力】湧水町 / 霧島山麓湧水町観光協会 / 第一交通産業株式会社

【技術協力】キャノンマーケティングジャパン株式会社

【企画協力】株式会社ライゾマティクス

【コーディネーション】四元朝子(サンカイ・プロダクション合同会社)

【前売り券販売所】

南日本新聞社、MBC 南日本放送、霧島山麓湧水町観光協会加盟店舗、霧島温泉市場、コープサービス、鹿児島大学生活協同組合、県職員生協、宮崎県立美術館、都城市立美術館、宝山ホール(鹿児島県文化センター)、What、山形屋プレイガイド、大谷画材、集景堂、十字屋クロス、高木画荘、国分進行堂、チケットぴあ(Pコード: 769-360)、ローソンチケット(Lコード: 82020)、e+イープラス



# 真鍋大度 の ライゾマティクスリサーチ

Daito Manabe の Rhizomatiks Research



MR (複合現実)を使ったインスタレーション作品(新作) / QUASI Daito Manabe

国内の美術館では初開催

新作を含む 真鍋大度とライゾマティクスリサーチの  
新たな挑戦

真鍋大度は、コンピュータやプログラミング技術を駆使して、従来のものごとに新たな見方を提示する作品を生み出すアーティストです。様々なアーティストとのコラボレーションを行い、デザイン、アート、エンターテインメントなど幅広い領域で活動しています。

本展は、国内の美術館では初となる真鍋の個展であり、これまでに発表された作品や関連資料により活動の軌跡を辿りながら、あわせて新作を紹介します。鹿児島県霧島アートの森の環境を生かしつつ独自の空間構成により、真鍋の独創性や先見性を展覧します。



Nosaj Thing / Cold Stares ft. Chance The Rapper + The O'My's / Rhizomatiks Research, ELEVENPLAY, MIKIKO, TAKCOM



ELEVENPLAY x Rhizomatiks Research "phosphere"

music : evala / Photo by Suguru Saito



Photo by Shizuo Takahashi

真鍋大度  
Daito Manabe

東京を拠点としたアーティスト、インタラクティブデザイナー、プログラマー、DJ。  
2006年 Rhizomatiks 設立、2015年より Rhizomatiks の中でも R & D 的要素の強いプロジェクトを行う Rhizomatiks Research を石橋素氏と共同主宰。  
身近な現象や素材を異なる目線で捉え直し、組み合わせることによって作品を制作。高解像度、高臨場感といったリッチな表現を目指すだけでなく、注意深く観察することにより発見できる現象、身体、プログラミング、コンピュータそのものが持つ本質的な面白さや、アナログとデジタル、リアルとバーチャルの関係性、境界線に着目し、デザイン、アート、エンターテインメントの領域で活動している。

坂本龍一、Bjork、OK GO、Nosaj Thing、Squarepusher、アンドレア・パッティストーニ、野村萬斎、Perfume、サカナクションを始めとした様々なアーティストからイギリス、マンチェスターにある天体物理学の国立研究所ジョドレルバンク天文物理学センターや CERN(欧州原子核研究機構)との共同作品制作など幅広いフィールドでコラボレーションを行っている。  
Ars Electronica Distinction Award、Cannes Lions International Festival of Creativity Titanium Grand Prix、D&AD Black Pencil、メディア芸術祭大賞など国内外の広告、デザイン、アート様々な領域で受賞多数。

Rhizomatiks  
Research

技術と表現の新しい可能性を探索する部門。メディアアート、データアートといった研究開発要素の強いプロジェクトを中心に扱い、まだ見たことのないモノ・コトを世の中に発表していく。ハード・ソフトの開発から、オペレーションまでプロジェクトにおける全ての工程に責任を持つ。また、人とテクノロジーの関係について研究し様々なクリエイターとのコラボレーションワークを実践していく。

## 関連事業

※詳細はホームページに掲載します。

- オープニングセレモニー / 11月16日(金) 14:00~
- アーティストトーク / 11月16日(金) 14:30~
- アーティストトーク / 12月15日(土) 13:30~
- コーディネーターによるギャラリートัวร์ / 14:00~  
第1回: 11月25日(日) / 第2回: 12月9日(日)  
第3回: 12月23日(日) / 第4回: 1月6日(日)
- 鑑賞ガイドの配布



- 車 : 九州自動車道「栗野IC」より約20分「鹿児島空港」より約40分
- 電車 : 「鹿児島中央駅」より日豊本線「隼人駅」のりかえ、肥薩線「栗野駅」下車、町営ふるさとバスで約20分
- バス : 「栗野駅」または「いきいきセンターくりの郷」より、町営ふるさとバスで約20分~40分